



①

しっかりと

首を支えて

新生児



生まれたばかりの赤ちゃんの体重が3kgだとすれば、頭の重さは概ね体重の1/3なので、1kgくらいのようです。

「そうか、1kg位なのね…」と思うかもしれませんが、大人に換算すれば、体重が60kgなら頭の重さは20kgで、5kgの米袋を4袋も首の上に載せている感じになります。

だから、首がすわるまでの赤ちゃんは、縦抱きにせず、頭の重さで首や肩や身体全体に負担がかからないように、常に横抱きにして育ててきました。

ところが、平成20年頃から、だっこひものメーカーが「新生児から縦抱き出来る商品」を販売し始め、新生児でも縦抱きにする人が急増しました。その時期と

リンクするように、横抱きであっても、頭の重さを適切に支えている人が減ってきた感じがします。

首がすわる前の縦抱きや、腰がすわる前に無理に座らせることは、赤ちゃんの身体に負担をかけることになり、何かしらの影響が出てきます。しかし、日本には発達に適した商品表示や審査基準がなく、残念ですが、選ぶ目を持つべきは使う側だと認識せねばなりません。

赤ちゃんが、重力の中で頭を持ち上げ、腰をすわらせ、二本の足で立つことを覚えていく過程には、それに応じた時間が必要と心得、ゆっくりと育ちを見守りましょう。